東濃信金に社会貢献賞

全信協「学びの丘」での活動、評価

東濃信用金庫（多治見市本町）は、全国信用金庫協会の第22回信用金庫社会貢献賞で「Ｆａｃｅ ｔｏ Ｆａｃｅ賞」を受賞した。同金庫として社会貢献賞を受賞するのは、２００８年の「地域活性化しんきん運動優秀賞」以来２度目。（野中準二）

◇

社会貢献賞は１９９７年度に創設され、地域貢献、社会貢献活動を実践する信金や関係団体を表彰。今回は、全国１７２の信金・関係団体から５６８件の応募があった。

東濃信用金庫は地域の人材育成と文化発信の拠点として、２０１５年にオープンした研修施設「とうしん学びの丘エール」と、同施設でのセミナーやチャリティーコンサート、交流会といった４年間の地域貢献の実績が評価された。

東京都内で開かれた全信協の総会で市原好二理事長が盾を受け取った。盾とともに贈られたブロンズ像「花の精　フローラ」は、可児市の彫刻家神戸峰男さんが制作。エールには神戸さんが手掛けた母子像があり、市原理事長は「ご縁のある神戸先生の像を頂き、二重の喜び。３年後には創立１００周年を迎える。継続的に幅広い層の人の交流と文化の発信に寄与していきたい」と語った。

「Ｆａｃｅ　ｔｏ　Ｆａｃｅ賞」のブロンズ像と盾を披露する市原好二理事長＝多治見市本町、東濃信用金庫本店

無断複製・転載を禁じます